

【信仰: Faith】

聖書を読むときに、信仰を抜きにしては考えられません。なぜなら、聖書は唯一である天地創造の神によって書かれて(実際に書いたのは人ですが、神の靈感によるものです)おり、その神を信じるように命令されているからです。信じるとは、信頼することであり、信仰とは神に信頼し、恐れ、そのことばに従うことを意味します。

聖書は、旧約と新約とがありますが、旧約聖書はユダヤ人が信じており、旧約聖書と新約聖書はクリスチャンが信じているものです。イスラム教も、天地創造の神を信じており、神のことばに従うという意味では同じものです。人類のすべては罪人です。ローマ5章12節『こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に—』【Therefore, just as through one man sin entered the world, and death through sin, and thus death spread to all men, because all sinned—】一方、神は真実な方です。黙示録19章9節『御使いは私に、・・・「これらは神の真実なことばである」と言った。』【Then he said to me, ... “These are the true sayings of God.】神は真実な方で、人は罪人で欺く者です。この二つのものが、交わるのは不可能です。神は、人と交わるために、契約をする方法を取られたのではないかと思います。契約は双方の信頼によって成り立ちます。信頼がなければ、契約は成立しません。神ははじめにアブラハムを選んで契約しました。創世記17章3～4節『アブラムはひれ伏した。神は彼にこう告げられた。「これが、あなたと結ぶわたしの契約である。あなたは多くの国民の父となる。』【Then Abram fell on his face, and God talked with him, saying: “As for Me, behold, My covenant is with you, and you shall be a father of many nations.”】神は一方的にアブラハムと契約を結びました。アブラハムは信頼して、この言葉を受け入れ、神の命令の言葉を実行しました。聖書には、アブラハムは信仰の人として書かれています。ヘブル書11章8節『信仰によって、アブラハムは相続財産として受け取るべき地に出て行くようにと召しを受けたときに、それに従い、どこに行くのかを知らずに出て行きました。』【By faith Abraham obeyed when he was called to go out to the place which he would receive as an inheritance. And he went out, not knowing where he was going.】アブラハムは神のことばを疑わずに、神の命令を守りました。その結果すべての良いものが与えられました。このことはユダヤ人も信じていることです。では、新約聖書ではどのように教えられているのでしょうか。神はアブラハムとの契約は、アブラハムの子孫との契約であると教えます。ガラテア3章16・29節『16 約束は、アブラハムとその子孫に告げられました。神は、「子孫たちに」と言って多数を指すことなく、一人を指して「あなたの子孫に」と言っておられます。それはキリストのことです。・・・29 あなたがたがキリストのものであれば、アブラハムの子孫であり、約束による相続人なのです。』【16 Now to Abraham and his Seed were the promises made. He does not say, “And to seeds,” as of many, but as of one, “And to your Seed,” who is Christ. ... 29 And if you are Christ’s, then you are Abraham’s seed, and heirs according to the promise.】神とアブラハムとの契約は、神とアブラハムの子孫であるキリストとの契約です。この契約は神がアブラハムの子孫に相続することを目的としています。マタイ1章1節『アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図。』【The book of the genealogy of Jesus Christ, the Son of David, the Son of Abraham:】マタイの最初の部分に、イエス・キリストはアブラハムの系図に入れられています。最初に書かれていることは、この記事は重要なことであることを意味しています。そして、もしある人がキリストのものであれば、その人はアブラハムの子孫でもあると明言されています。キリストのものであるとはどういう意味でしょうか。ローマ1章5～6節『5 この方によって、私たちは恵みと使徒の務めを受けました。御名のために、すべての異邦人の中に信仰の従順をもたらすためです。6 その異邦人たちの中にあって、あなたがたも召されてイエス・キリストのものとなりました—』【5 Through Him we have received grace and apostleship for obedience to the faith among all nations for His name, 6 among whom you also are the called of Jesus Christ;】異邦人とは、ユダヤ人以外の者であり、全世界に住んでいるすべての人を意味します。もし誰かが信仰の従順を持つならば、キリストのものとなります。使徒の働き26章18節『それは彼らの目を開いて、闇から光に、サタンの支配から神に立ち返らせ、こうしてわたしを信じる信仰によって、彼らが罪の赦しを得て、聖なるものとされた人々とともに相続にあずかるためである。』【to open their eyes, in order to turn them from darkness to light, and from the power of Satan to God, that they may receive forgiveness of sins and an inheritance among those who are sanctified by faith in Me.】誰であつても、もしイエス・キリストを信じる信仰を持つならば、相続にあずかるものとなります。